東京学芸大学　50001400　現代社会と日本語
2021/1/21　南浦涼介

現代社会と日本語

第13回
第3単元　多文化社会化する日本の中でどのような言語のありかたが重要かを考える③
分析をする目と，変革をする目と

本日も最後の方にブレイクアウトルームをしますので
Teamsはアプリから入るようにしてください

みんなのを見る　お互いの言語景観の写真を見てコメントし合う

言語景観をお互いに分析しあう

参加の方法

①まずは「問い」を解く。

②アップロードした人は，コメントがついたら解説をしたり，考えを載せる

③さらにコメントする

④この段階くらいになったら，色々なコメントに絵文字を付けてみよう

ことばの公共性をみぬく分析者

「景観」に潜む社会の意味を
言語の使用から
冷静に分析する人として

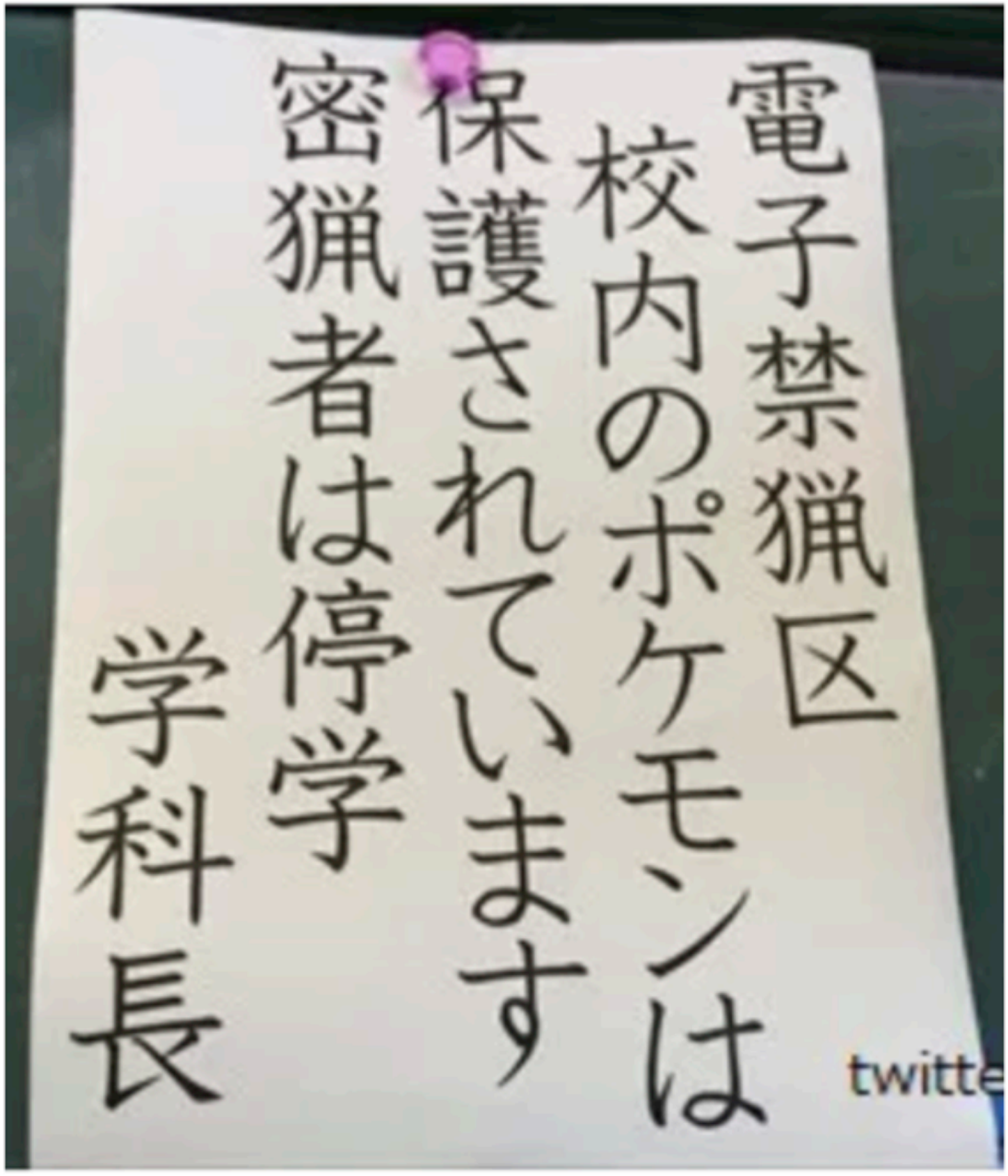
過去 → **言語景観**

「今」が、
なぜそうなったのかを
考える

それがつくられた時の
その作り手の世界観を知る
その世界観を評価し
よりよいものは何かを考える目を持つ

新しい視点

これらは「作り手」は何をしようとしているのか？



No importa de dónde eres,
estamos contentos que seas
nuestro vecino.
No matter where you are
from, we're glad you're
our neighbor.
لا يهم اين ولدتم، و لكننا
سعداء انكم جيراننا.

またね!
りがとう!!
元気ですか?

Obrigado
Adeus
Boa noite
Bom dia

小 先生方 たくさんの
思い出 ありがとう
ここが私達の
ふるさと
Olá

人類皆兄弟 | イタリア |

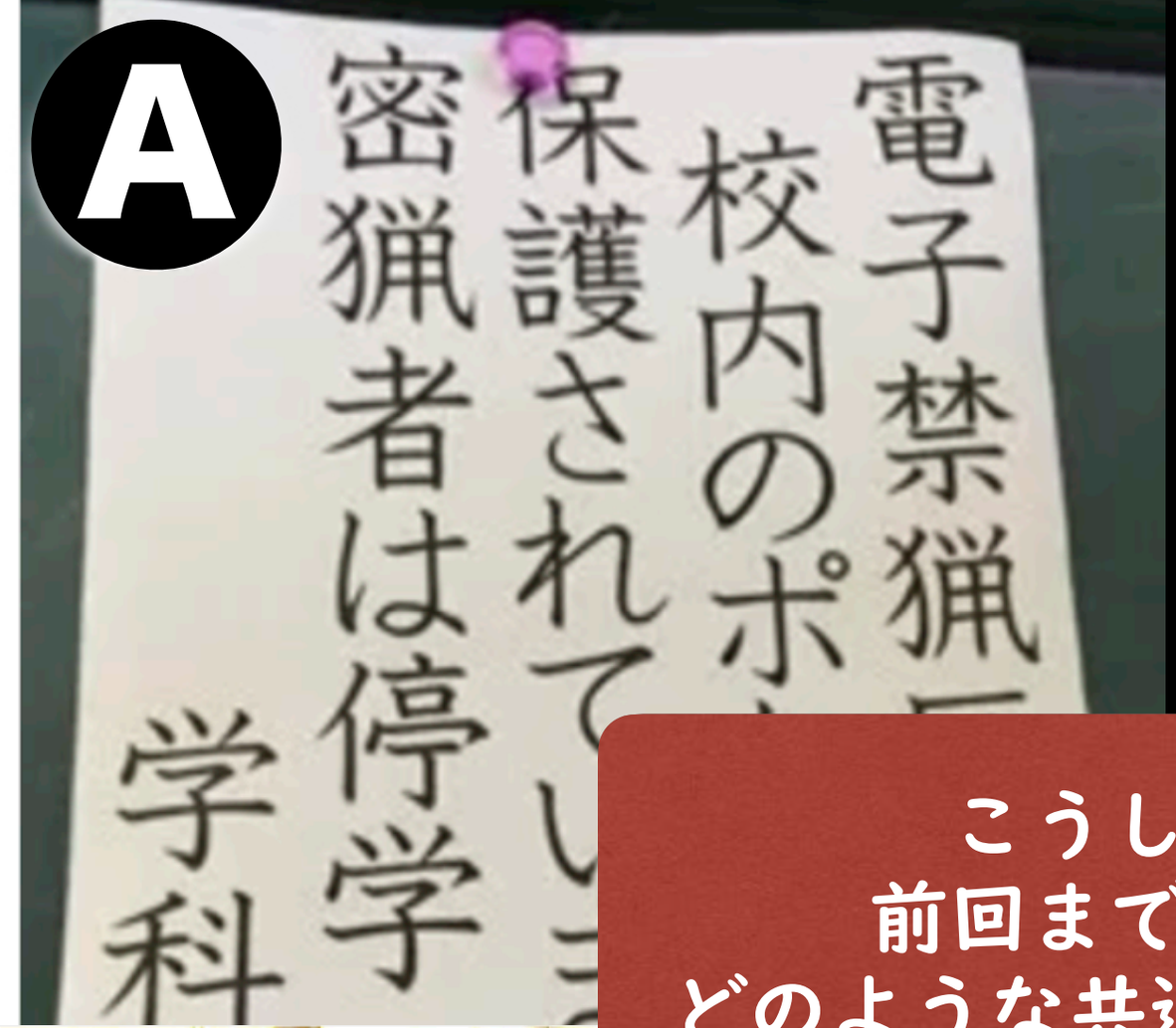
United Colors of Benetton "Unhate" / Italy

UNITED COLORS OF BENETTON
Supports the Unhate Foundation
unhatefoundation.org

コピーは「ベネトンはUnhate Foundationを支援します」
Unhateという言葉はないが、hate(大嫌い)の否定型なので「嫌わない」という意味。ビジュアルを見ると、「嫌わない」どころか「愛し合う」感じで、各国首脳の合成写真のインパクトが強く、その大胆さに驚かされる。敵対する国の代表がキスしている意味は「兄弟愛」なのだそうだ。
ここでは以下の4つのバージョンを掲載する。
①オバマ大統領(アメリカ)と
　胡錦濤前主席(中国)
②アッバス議長(パレスチナ)と
　ナタニヤフ首相(イスラエル)
③メルケル首相(ドイツ)と
　サルコジ前大統領(フランス)
④故金正日総書記(北朝鮮)と
　李明博前大統領(韓国)
ベネトンの社長ルチアーノ・ベネトンは、1985年ごろまではベネトンというネームをニットのワンポイントマークにして展開していたが、そのころ、商品写真の入った雑誌の宣伝のページや商品カタログにいろいろな色で横線を入れていた。そしてその国によって違う色の中に、ドイツ語、スペイン語、英語と、その国の言葉で説明を入れていた。
ある時、いろいろな色が入った自分たちのカラフルなカタログを見ているうちに、カラフルな世界という言葉が浮かんだので、それをブランドにしようと「ユナイテッド・カラーズ」という新しいブランド名を登録したそうだ。そうした発想がこうした広告につながっているに違いない。
余談だが、ローマ法王とエジプトのイスラム教指導者のバージョンも存在したが、広告が出稿された直後バチカンに抗議されたため、出稿停止で幻の原稿になったとのこと。

オバマ大統領(アメリカ)と胡錦濤前主席(中国)

United Colors of Benetton "Unhate"/ Treviso
Executive Creative Director: John Seller
Creative Director: Carlo Cavalone, Robert Nikkita, Paulo Martins, Erik Ravelo
Copywriter: Carlo Cavalone
Designer: Wendy Richardson
Agency: Fabrica Treviso/72 Andsunny NL Amsterdam



こうした景観には
前回までの景観と違う
どのような共通点があるだろう？

概念化

言語景観から見る
「社会とことば」の関係をめぐる私たちの2つの側面

「分析する系」の視点

「変える系」の視点

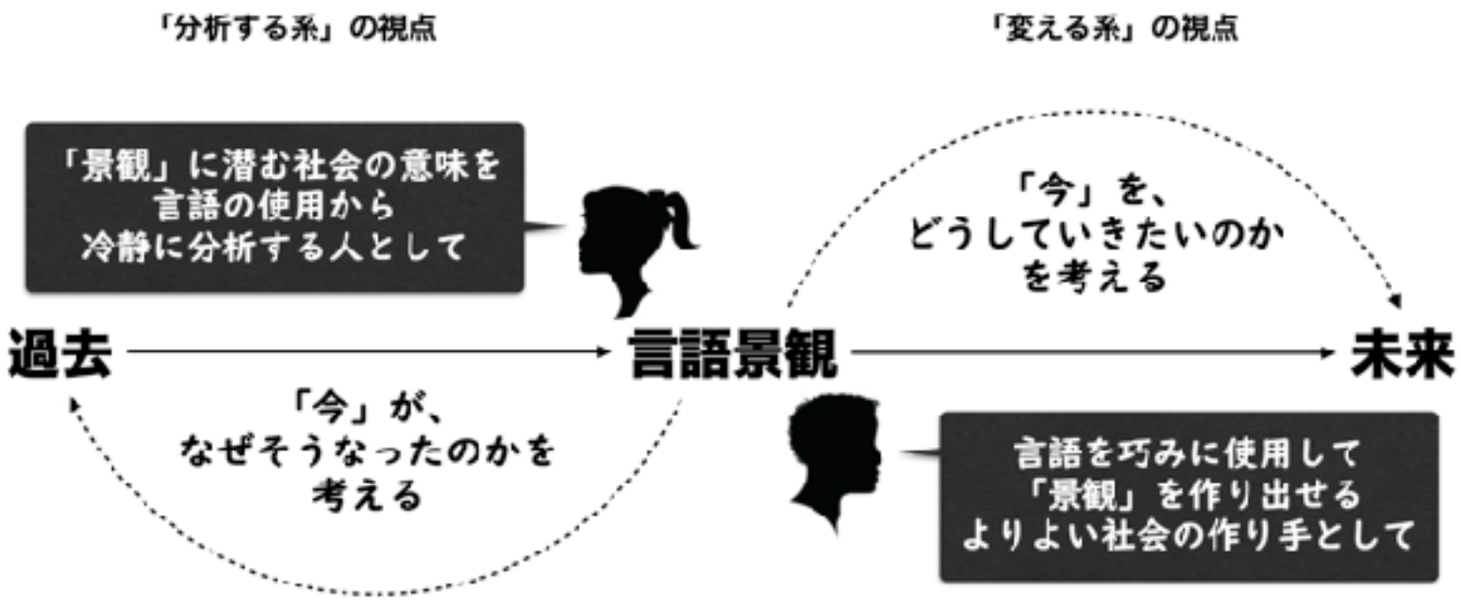
「景観」に潜む社会の意味を
言語の使用から
冷静に分析する人として

「今」を、
どうしていきたいのか
を考える

過去 → 言語景観 → 未来

「今」が、
なぜそうなったのかを
考える

言語を巧みに使用して
「景観」を作り出せる
よりよい社会の作り手として



命題38　「言語景観」には作り手がいる。作り手の主観が反映される。

命題39　作成者は「そのコミュニティにとってよかれ」と思い、合理的配慮のもとでそれをつくる

命題40　「言語景観」には作り手が持っている主観
＝「社会の中であるべき言語価値観」が反映されている

命題41「言語景観」に反映された作り手の「社会の中であるべき言語価値観」は，そのコミュニティにいる人たちのことばの価値観にも影響を与える

命題42　だからこそ，「作り手の価値観」のありかたを研いでいくことで，私たちはことばを用いて社会にはたらきかけ，社会を少しずつ作り変えていく力を持っている。（social agengy: 社会的行為主体性をもつ市民）

「変える系」言語景観をネットから探そう（街場にでかけようという意味）

「言語景観」をうまく作ることによって、
社会やコミュニティの価値観を意図的に変えていこうとするものは
どのようなものがあるだろうか？

①ネットや自分の写真などで「いい！」と思ったものを探す。
②みんなで共有する
・「Padlet」というツールを使います。
・URLのリンク先から移動します。
・画面上をクリックして，コメントを入力
　1.タイトル：名前を入力
　2.内容を入力してください：解説（どんな写真か？　どんなことばのくふうをして伝えようとしているか?）を少し解説。
　3.画像を添付（画像URLを添付，あるいはダウンロード）
・コメントをみんなのにつけたり，絵文字をつける。

「変える系」言語景観にはどのような「ことばの技巧」が見られるだろうか
「他者にinfluenceを与えるためのことばの技巧とは？」を考えよう。
そして来週グループで交換できるように備えよう。

来週は　全体をまとめる

1/28

① できれば，全体で今日のものをまとめる
② これまでの学習の命題を共同でまとめ何を学んだかを理解する
（グラフィックシラバスをつくる）

2/4

③ 1/28でまとめたことをもとに，授業時間中にレポートを書き，提出する。（グラフィックシラバスを，命題を用いて解説する）